

ご回答いただく前に、差し支えなければ、下記についてご記入ください。

A:性別

男 女

B:年齢

20歳未満 20～29歳 30～39歳 40～49歳 50～59歳
60～69歳 70～79歳 80歳以上

C:ご職業

学生 会社員 公務員 自営業 主婦 その他

D:お住まいの都道府県

予算の使い方

Q1: あなたが財務大臣になったつもりで、国の予算(歳出)をどのように配分すべきかを考えてみてください。このとき、予算を増やすべきだと思う分野を、以下から5つ以内で選んでください。

- | 〔社会資本〕 | 〔自然環境〕 | 〔教育、科学、文化〕 | 〔産業・エネルギー〕 | 〔社会保障〕 | 〔防衛、外交、治安〕 | 〔食糧・農林水産業〕 |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 道路 | <input type="checkbox"/> 廃棄物処理 | <input type="checkbox"/> 小・中・高教育 | <input type="checkbox"/> 産業振興 | <input type="checkbox"/> 年金 | <input type="checkbox"/> 防衛 | <input type="checkbox"/> 食品の安全・安心 |
| <input type="checkbox"/> 港湾空港鉄道 | <input type="checkbox"/> 水質・土壌保全 | <input type="checkbox"/> 大学教育 | <input type="checkbox"/> エネルギー対策 | <input type="checkbox"/> 医療 | <input type="checkbox"/> 外交 | <input type="checkbox"/> 農林水産業振興 |
| <input type="checkbox"/> 情報通信 | | <input type="checkbox"/> 学術研究 | <input type="checkbox"/> 中小企業対策 | <input type="checkbox"/> 介護 | <input type="checkbox"/> 開発援助(ODA) | <input type="checkbox"/> 農山漁村対策 |
| <input type="checkbox"/> 上下水道 | | <input type="checkbox"/> 文化 | | <input type="checkbox"/> 福祉 | <input type="checkbox"/> 治安・警察 | |
| <input type="checkbox"/> 住宅都市 | | | | <input type="checkbox"/> 雇用・失業対策 | | |
| <input type="checkbox"/> 森林・河川保全 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 農林水産業基盤整備 | | | | | | |

Q2: 同様に、予算(歳出)を減らすべきだと思う分野を、以下から5つ以内で選んでください。

- | 〔社会資本〕 | 〔自然環境〕 | 〔教育、科学、文化〕 | 〔産業・エネルギー〕 | 〔社会保障〕 | 〔防衛、外交、治安〕 | 〔食糧・農林水産業〕 |
|------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 道路 | <input type="checkbox"/> 廃棄物処理 | <input type="checkbox"/> 小・中・高教育 | <input type="checkbox"/> 産業振興 | <input type="checkbox"/> 年金 | <input type="checkbox"/> 防衛 | <input type="checkbox"/> 食品の安全・安心 |
| <input type="checkbox"/> 港湾空港鉄道 | <input type="checkbox"/> 水質・土壌保全 | <input type="checkbox"/> 大学教育 | <input type="checkbox"/> エネルギー対策 | <input type="checkbox"/> 医療 | <input type="checkbox"/> 外交 | <input type="checkbox"/> 農林水産業振興 |
| <input type="checkbox"/> 情報通信 | | <input type="checkbox"/> 学術研究 | <input type="checkbox"/> 中小企業対策 | <input type="checkbox"/> 介護 | <input type="checkbox"/> 開発援助(ODA) | <input type="checkbox"/> 農山漁村対策 |
| <input type="checkbox"/> 上下水道 | | <input type="checkbox"/> 文化 | | <input type="checkbox"/> 福祉 | <input type="checkbox"/> 治安・警察 | |
| <input type="checkbox"/> 住宅都市 | | | | <input type="checkbox"/> 雇用・失業対策 | | |
| <input type="checkbox"/> 森林・河川保全 | | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 農林水産業基盤整備 | | | | | | |

Q3: 予算の使い道として、特に無駄だと感じているものがあれば、具体的にご記入ください。

財政の現状

Q4: 我が国の財政の現状については、平成15年度末で、国及び地方の長期債務残高は686兆円程度(対GDP比で137.6%)、公債残高は450兆円程度(国民1人当たり約353万円。4人家族で約1,413万円。)になると見込まれています。こうした現状を見て将来に不安を感じますか？また、将来の不安に備えて、消費を減らしたり(貯蓄を増やしたり)していますか？

- 不安を感じるが特に何もしていない
- 不安を感じて消費を減らしている(貯蓄を増やしている)
- 不安を感じない

Q5: 財政赤字を減らすための財源は、どのようにして捻出すべきだと思いますか？

- 増税 歳出削減 増税と歳出削減の両方
- 景気が回復すれば自然増収で財政赤字を縮減できる
- 財政赤字を縮減する必要はない(借金し続ければよい)

Q6: 景気回復と財政赤字の縮減と、どちらに、より優先的に取り組むべきだと思いますか？

- 景気回復
- 財政赤字の縮減
- 両方に同時に取り組むべき

社会保障

Q7: 少子高齢化に伴い、高齢者に対する給付が特に大きく伸び(平成14年の約30兆円が平成37(2025)年には約86兆円に増大)、一方でこれを支える現役世代の負担が増大(国民所得比で平成14年の約22.5%が平成37(2025)年には約32.5%に増大)することが見込まれます(いずれも厚生労働省試算)。高齢者に対する医療や年金等の給付の在り方について、どのように思いますか？

- 高齢者への給付が大きすぎる(現役世代の負担を抑制すべき)
- 高齢者への給付は適当な水準である(現役世代の負担を見込みどおり増やしてもいい)
- 高齢者への給付が小さすぎる(現役世代の負担を見込みより増やしてもいい)

Q8: 年金制度については、現時点で将来給付すると約束している年金の総額約2,400兆円のうち、現行の保険料等で賄えず、今後の保険料の引上げ分により賄わなければならない部分は全体の4分の1程度の約600兆円になります。このため、現行の給付設計を前提にすると、厚生労働省の試算によれば将来(2025年)の保険料負担は年収の24.8%に引き上げる必要があります。

現在・将来の給付と負担のあり方について、どう考えますか？

【現在の制度設計】

給付・・・現役世代の収入の約6割を保障。夫婦二人のサラリーマン世帯のモデルで月額約23.6万円

保険料負担・・・現在は年収の13.58% (労使折半)。現行の給付水準を維持するためには、
段階的な引上げが必要(2025年24.8%)

- 【現在の制度設計(2025年24.8%)】より負担を引き上げて、給付水準を引き上げるべき
- 【現在の制度設計(2025年24.8%)】どおり負担を引き上げて、給付水準を維持すべき
- 【現在の制度設計(2025年24.8%)】より負担の引上げ幅を抑制して、給付水準を引き下げるべき

公共事業

Q9: 今の公共事業の全体の規模について、どのように思いますか？
(平成15年度予算の一般歳出47.6兆円のうち、公共事業関係費は8.1兆円)

- 規模が大きすぎる
- 適当な規模である
- 規模が小さすぎる

Q10: 景気対策としての公共事業について、どのように考えますか？

- 積極的に取り組むべき
- 抑制すべき
- 景気の状態に応じて考えるべき

地方財政

Q11: 昭和29年度に作られた地方交付税制度は、かつて高度成長期においては国土の均衡ある発展に寄与してきました。最近では地方の歳出の伸びが国の伸びを上回ってきたことなどから、国の予算のうち地方交付税が占める割合は大きくなっています(平成15年度予算の一般会計歳出81.8兆円のうち地方交付税は、社会保障関係費(19.0兆円)について2番目の17.4兆円)。地方交付税の財源保障機能(地方の歳出面をも考慮し、歳入と歳出の差額を補てんする機能)について、今後どのようにすべきだと思いますか？

- 一層の拡充が望ましい
- 現行のまま維持すべき
- 機能・役割を縮小すべき

Q12: 地方分権の推進、地方行政の効率化を進めていくためには、受皿となる地方公共団体の行財政基盤の強化が必要です。そのためにも、各地で市町村合併に向けた議論が活発になっています。このような市町村合併へ向けた動きについてどのように考えますか？

- 一層進めるべき
- 現状のままでよい
- 進めるべきでない

その他

Q13: 質問はこれで終わりです。最後に、我が国財政の現状及び社会保障、公共事業、地方財政などの各分野の課題等について感じることがあれば、ご記入下さい。

また、予算を含め、財政運営について分かりやすくPRしていくには、どのような工夫が必要だと思いますか？このアンケート調査に対するご意見を含め、何かあれば、ご記入ください。